

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書

概要版

調査目的

本調査は、平成 18 年度に予定している文京区地域福祉計画（障害者計画）の策定に向け、区内の身体障害者、知的障害者、精神障害者並びに障害児の生活実態、障害者福祉サービス利用状況及び障害者福祉施策への意向を把握し、計画の基礎資料とするとともに、施策のあり方等の検討に資することを目的に実施した。

調査概要

調査対象 (平成 17 年 12 月 1 日現在)	身体障害者	身体障害者手帳所持者のうち約3割の無作為抽出及び支援費制度の受給者証の交付者		
	知的障害者	愛の手帳所持者及び支援費受給者証交付者		
	精神障害者	精神障害者保健福祉手帳所持者		
	就学前障害児	区立幼稚園特別保育児童、区立保育園障害児保育児童及び福祉センターに通所している児童		
	就学後障害児	区立の小中学校心身障害者学級(固定制・通級制情緒障害学級)在籍児童生徒、養護学校在学の区内在住児童及び育成室に障害児として入室している児童		
調査方法	原則として郵送配布・郵送回収			
調査時期	平成 18 年 1 月 6 日(金)～1 月 27 日(金)			
回収状況		〈対象者数〉	〈有効回答数〉	〈有効回答率〉
	身体障害者	1,554 人	1,019 人	65.6%
	知的障害者	622 人	485 人	78.0%
	精神障害者	432 人	287 人	66.4%
	就学前障害児	70 人	55 人	78.6%
	就学後障害児	177 人	115 人	65.0%
	計	2,855 人	1,961 人	68.7%

概要版の見方

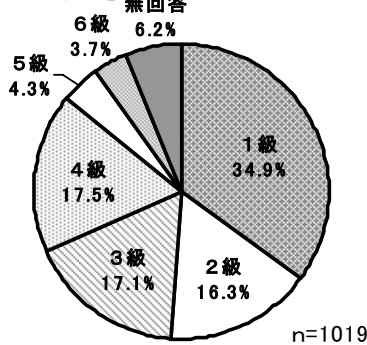
- ・ nは基数となる実数であり、設問に対する回答者数である。
- ・ 各構成比の合計は、四捨五入や非該当(回答と回答者等に矛盾を生じている場合)の省略の関係で 100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答の場合は、合計が 100%を超えることがある。
- ・ この概要版は、調査項目の中から、基本となる部分、特徴的な傾向が読み取れる部分を中心にまとめているため、報告書本編とは設問の順序、掲載内容、グラフ等が異なっている。

1

身体障害者

1 基本属性について

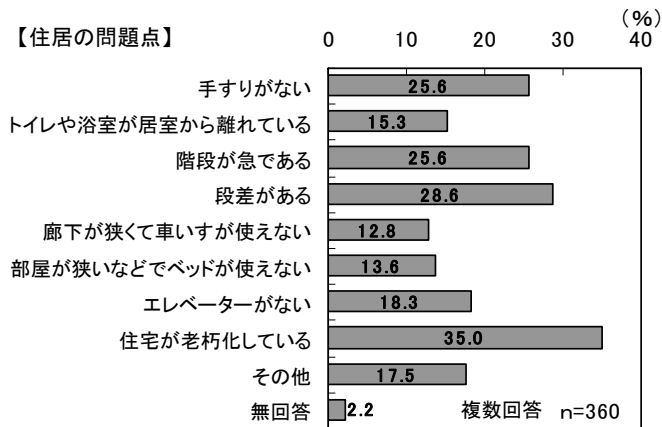
【障害程度別】



1級・2級	3級・4級	5級・6級
重度	中度	軽度

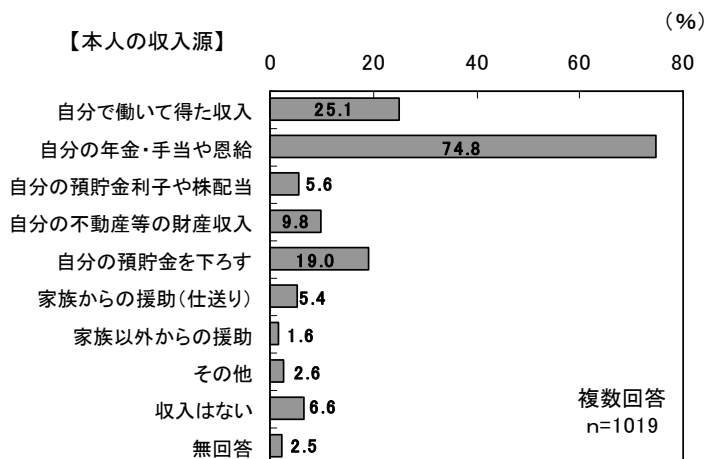
障害の程度は1級、2級の重度が合わせて、半数以上を占めた。

2 住居について



住居の問題点については、「住宅の老朽化」が最も多く、次いで「段差がある」であった。

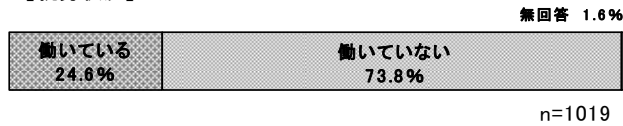
3 収入・年金について



本人の収入源をみると、「自分の年金・手当や恩給」が最も高い割合を占めている。

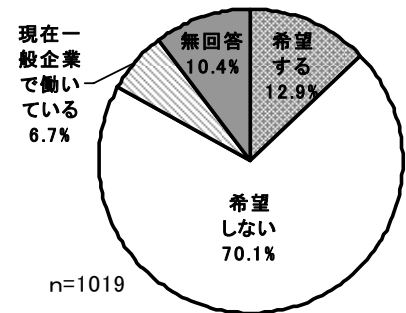
4 就労の状況について

【就労状況】



就労状況は、「働いている」が24.6%であった。
一般企業への就職を希望する人については、「希望する」が12.9%であった。

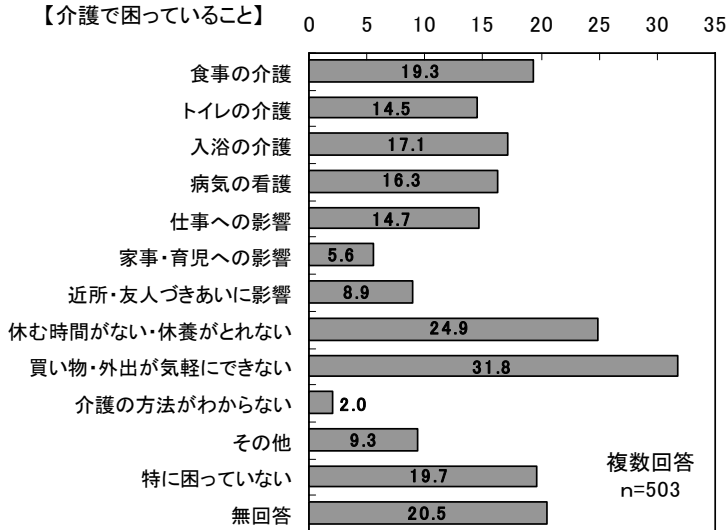
【一般企業への就職について】



5 介護の状況について

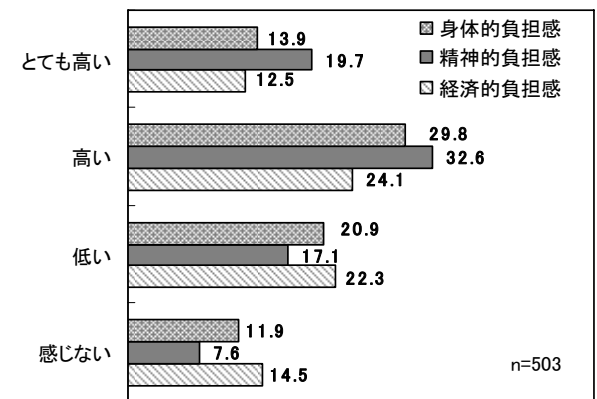
(%)

【介護で困っていること】



【介護の負担感】

(%)



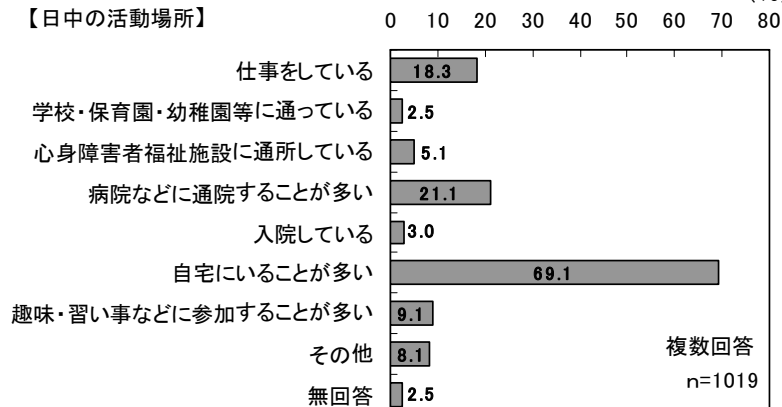
介護で困っていることでは、「買い物・外出が気軽にできない」、「休む時間がない・休養ができない」とする人が多かった。

介護の負担感では、身体的、精神的、経済的のいずれでも「高い」とする割合が多かった。

6 日中活動について

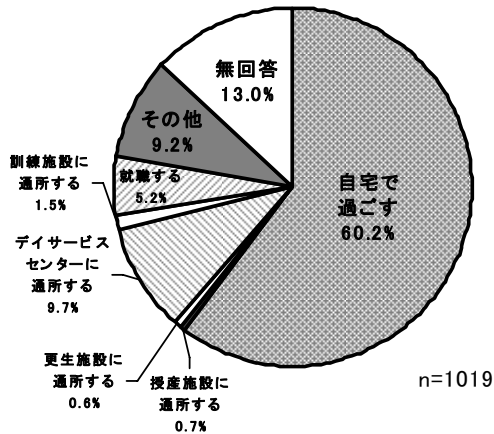
(%)

【日中の活動場所】



日中の活動場所については、「自宅にすることが多い」が最も多かった。

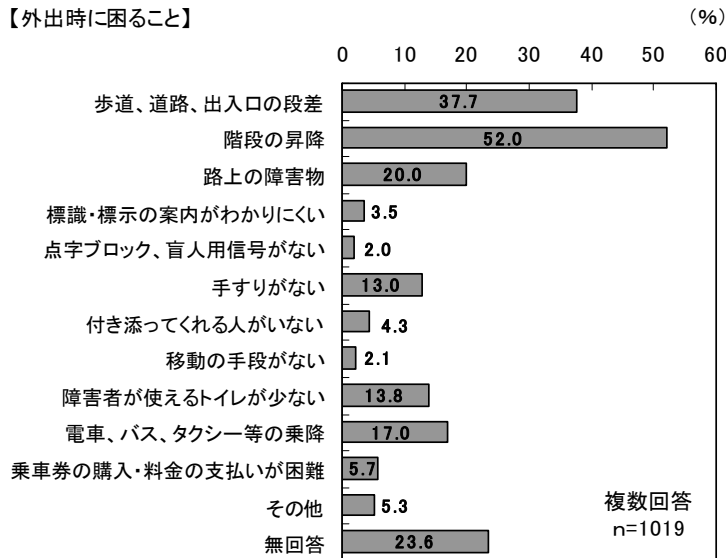
【今後の過ごし方】



今後、希望する過ごし方では、「自宅ですごす」が 60.2%と高い割合を占めた。

7 外出時のことについて

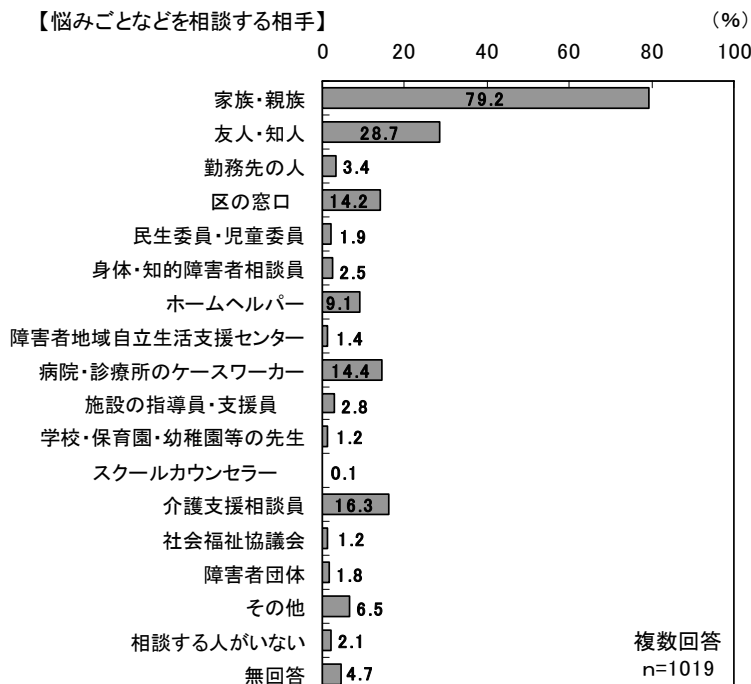
【外出時に困ること】



外出時に困ることについては、「階段の昇降」、「歩道、道路、出入口の段差」をあげる人が多かった。

8 相談について

【悩みごとなどを相談する相手】

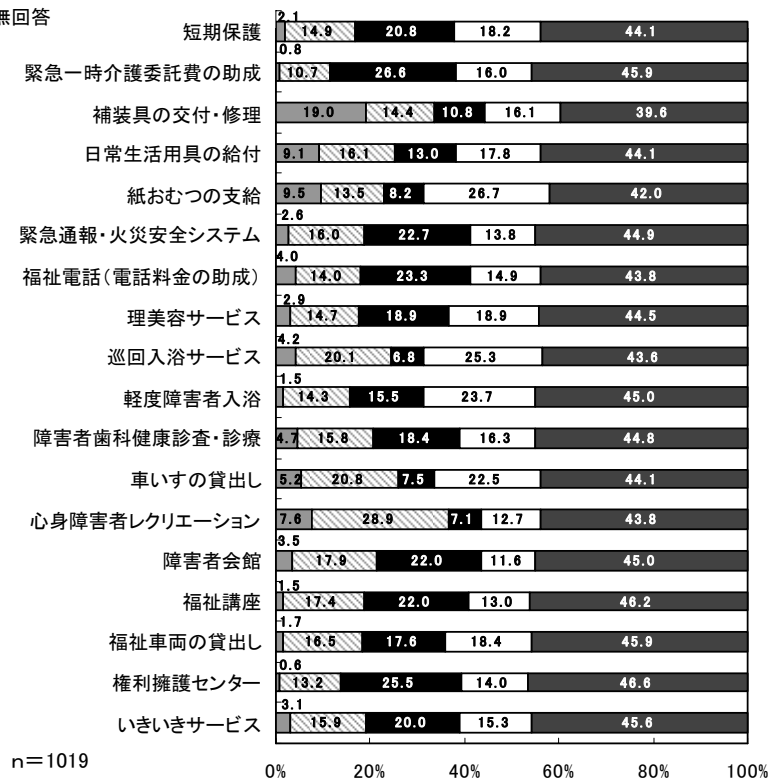


悩みごとなどを相談する相手をたずねたところ、「家族・親族」とする回答が最も多かった。

9 障害者福祉サービスについて

【利用状況】

- 現在利用している
- 制度を知らない
- 無回答
- 制度は知っているが、利用したことがない
- 利用の対象でない

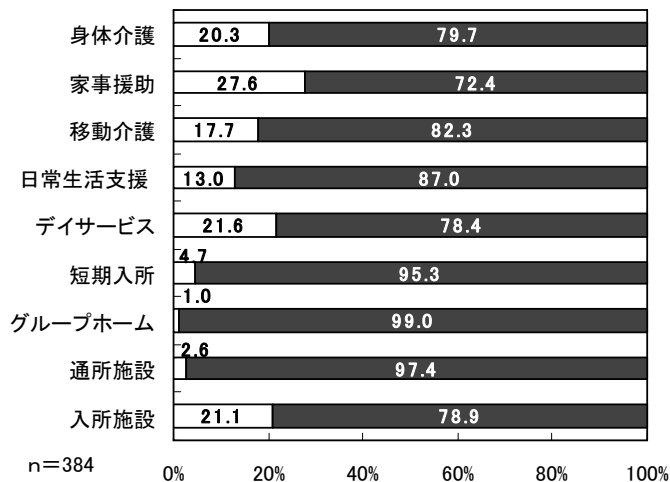


障害者福祉サービスの利用状況をみると、「現在利用している」割合は低いが、サービスによっては、「利用の対象でない」とする人が多かった。

10 支援費制度について

【利用状況】

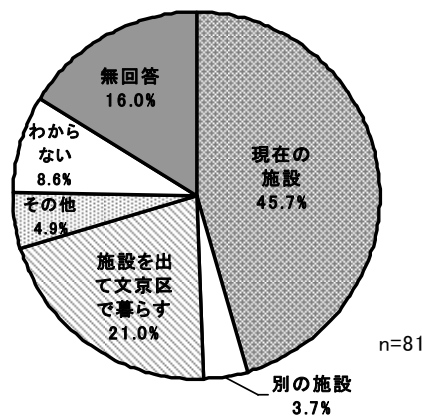
- 利用している
- 利用していない



支援費制度の利用状況については、家事援助、デイサービス、身体介護の利用が2割を超えている。

11 入所者の生活場所

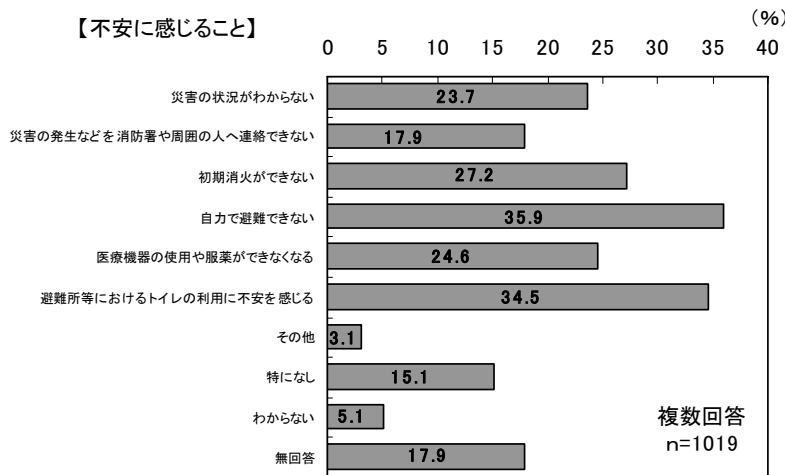
【今後の生活場所】



施設入所者に今後の生活場所についてたずねたところ、「現在の施設」が最も高い割合を占めた。

12 災害対策・情報提供について

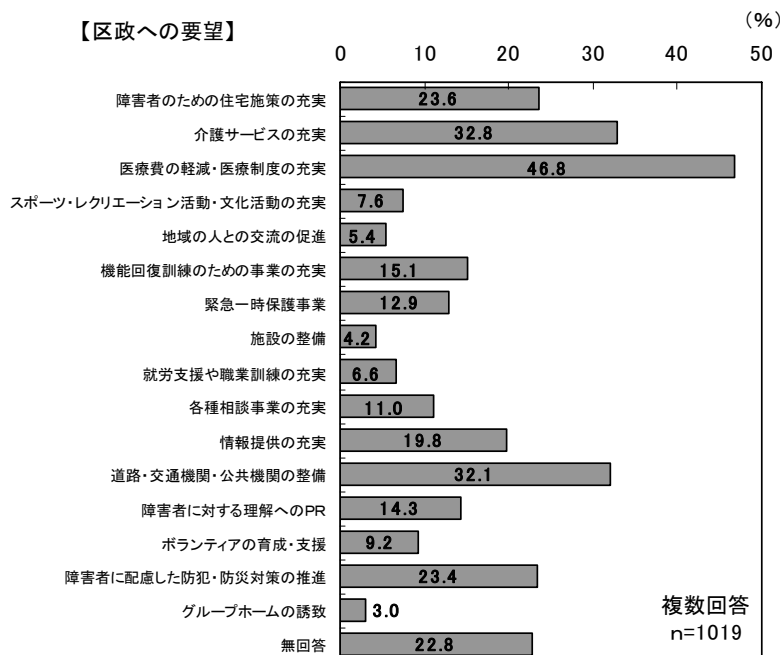
【不安に感じること】



災害時に不安に感じることでは、「自力で避難できない」とする回答が最も多かった。

13 要望事項について

【区政への要望】



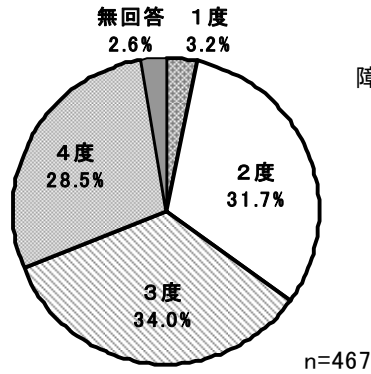
区政への要望については、「医療費の軽減・医療制度の充実」が最も高く、次いで「介護サービスの充実」、「道路・交通機関・公共機関の整備」の順に多かった。

2

知的障害者

1 基本属性について

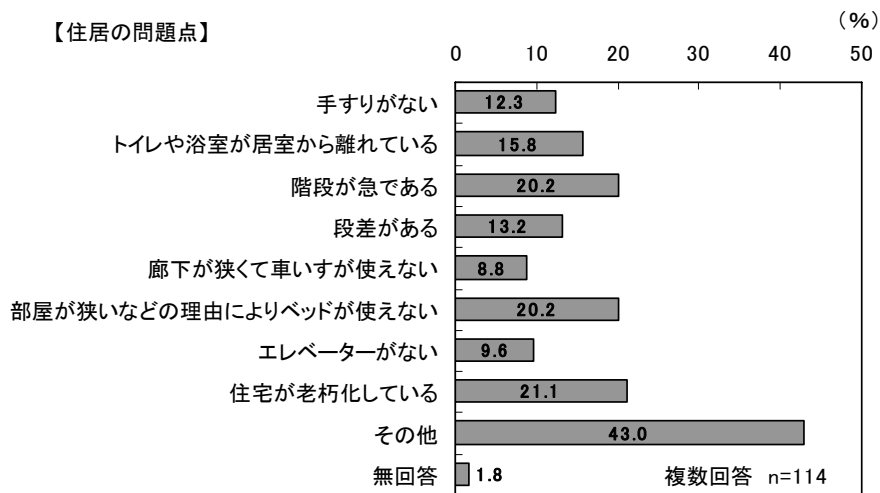
【障害の程度】



障害の程度は3度、2度、4度の順に多かった。

2 住居について

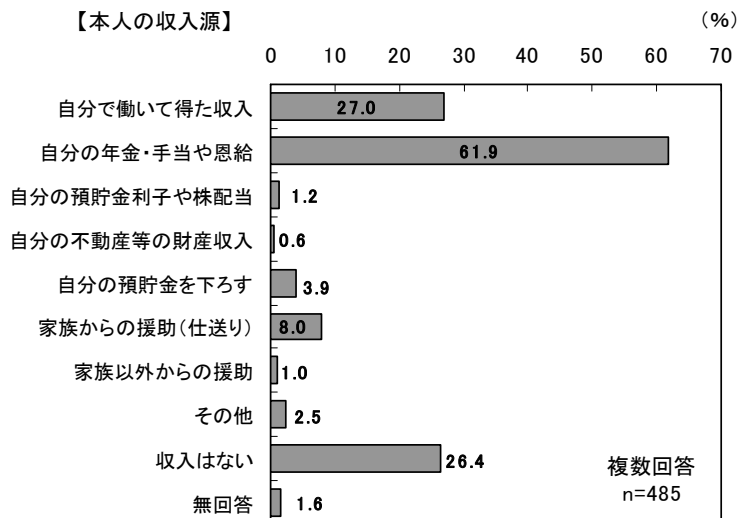
【住居の問題点】



住居の問題点については、「住宅が老朽化している」が最も多かった。

3 収入・年金について

【本人の収入源】



本人の収入源をみると、「自分の年金・手当や恩給」が最も多かった。

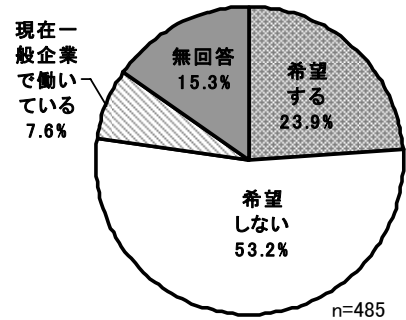
4 就労の状況について



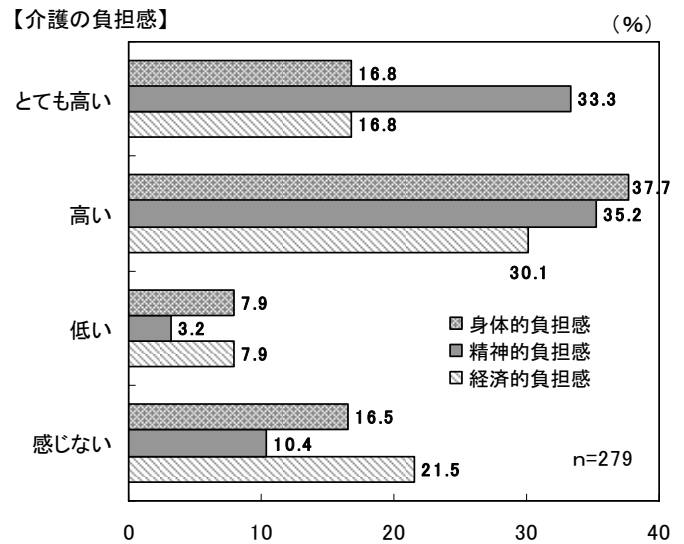
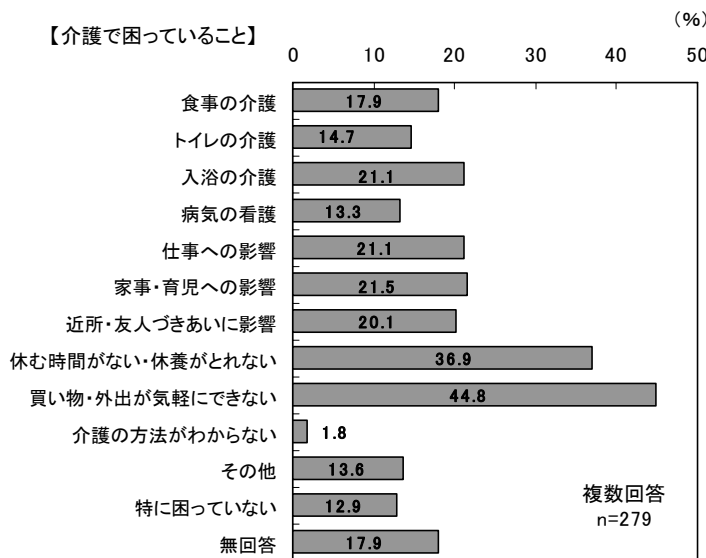
就労状況は、「働いている」は 30.1%、「働いていない」は 68.0%であった。

一般企業への就職を希望する人は 23.9%であった。

【一般企業への就職について】



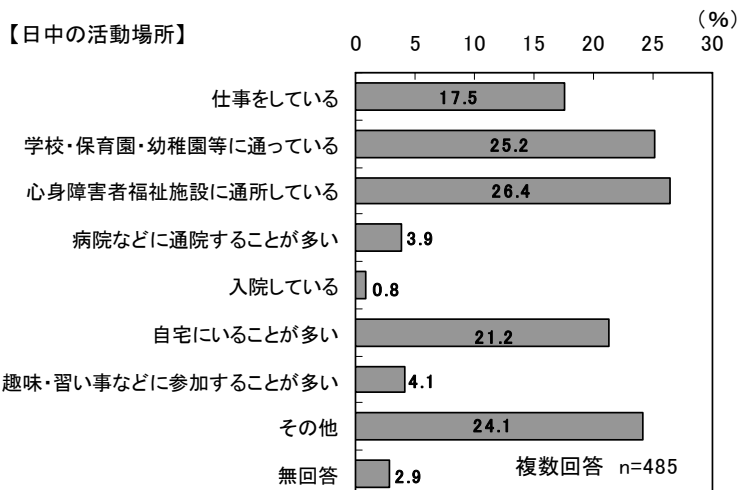
5 介護の状況について



介護で困っていることでは、「買い物・外出が気軽にできない」が多く、次いで「休む時間がない・休養がとれない」であった。

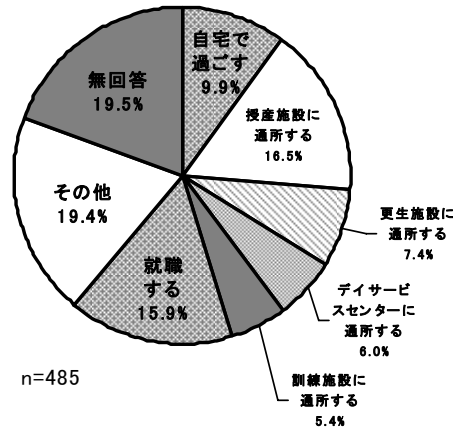
介護の負担感については、身体的、精神的、経済的のいずれでも「高い」とする割合が多かった。

6 日中活動について



日中の活動場所については、通園、通学、福祉施設に通所している人の割合が2割を超えていた。

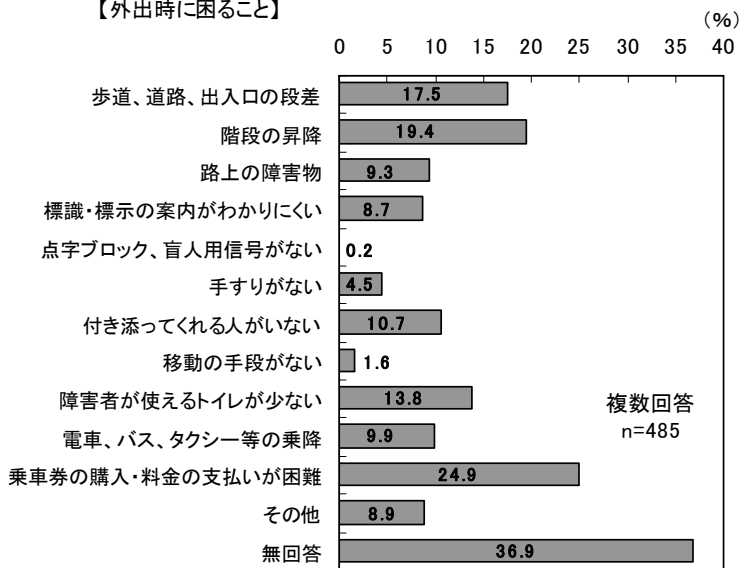
【今後の過ごし方】



今後、希望する過ごし方では、「授産施設に通所する」、「就職する」の割合が高かった。

7 外出時のことについて

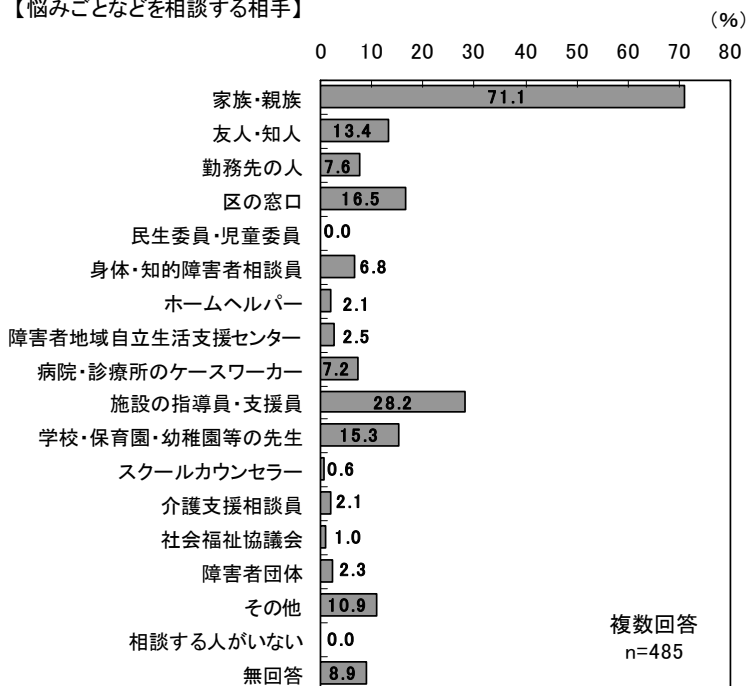
【外出時に困ること】



外出時に困ることについては、「乗車券の購入・料金の支払いが困難」が最も多かった。

8 相談について

【悩みごとなどを相談する相手】

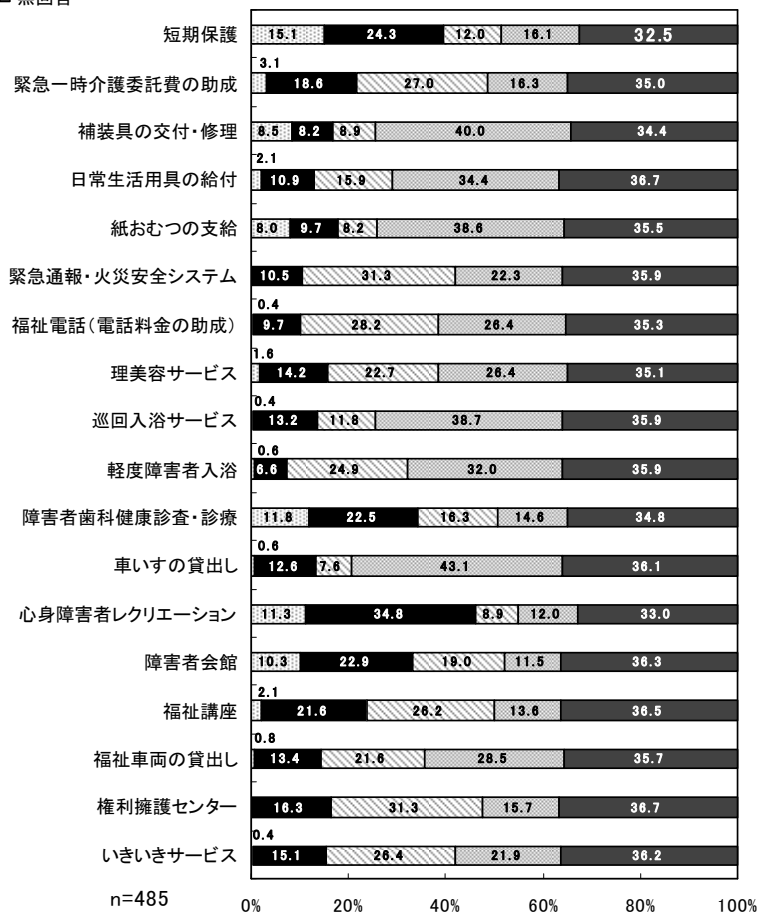


悩みごとなどを相談する相手をたずねたところ、「家族・親族」とする人が最も多かった。

9 障害者福祉サービスについて

【利用状況】

- 現在利用している
- 制度を知らない
- 無回答
- 制度は知っているが、利用したことがない
- 利用の対象でない

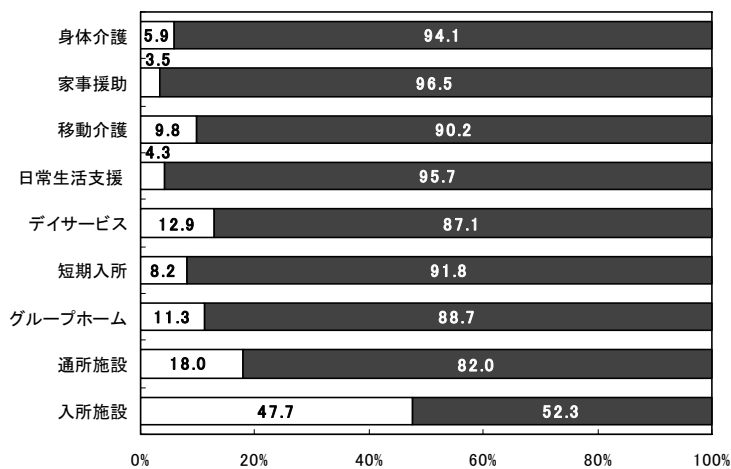


障害者福祉サービスの利用状況を見ると、「利用の対象でない」とする回答が多くみられた。

10 支援費制度について

【利用状況】

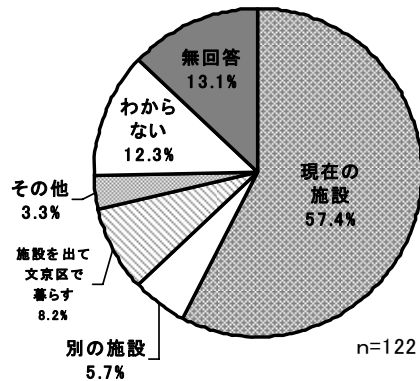
- 利用している
- 利用していない



支援費制度の利用状況については、入所施設の利用が47.7%と最も高かった。

11 入所者の生活場所について

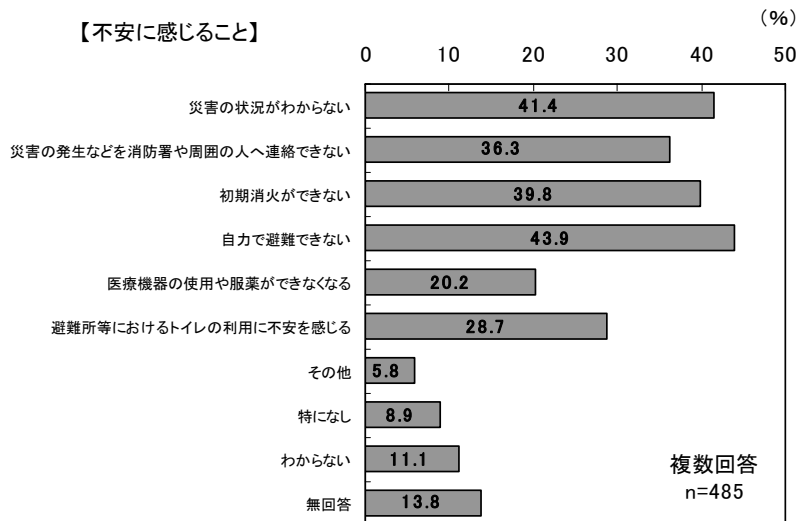
【今後の生活場所】



施設入所者に、今後、生活したい場所をたずねたところ、「現在の施設」とする回答が6割近くであった。

12 災害対策・情報提供について

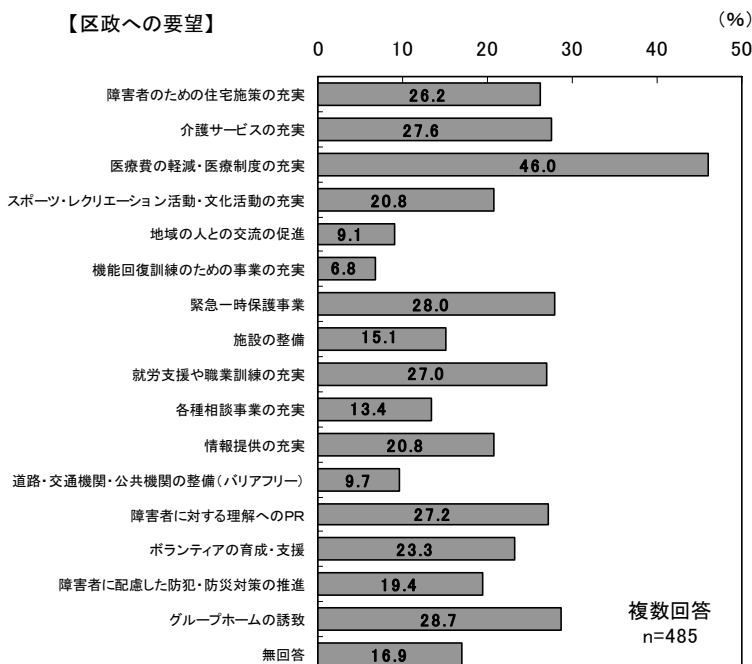
【不安に感じること】



災害時に不安に感じることは、「自力で避難できない」とする回答が最も多く、続いて「災害の状況がわからない」、「初期消火ができない」の順となっている。

13 要望事項について

【区政への要望】



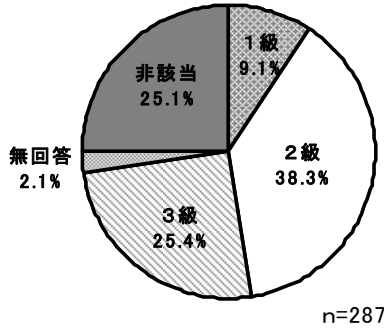
区政への要望で最も多かったものは、「医療費の軽減・医療制度の充実」であった。次いで「グループホームの誘致」、「緊急一時保護事業」、「介護サービスの充実」の順となっている。

3

精神障害者

1 回答者の属性

【障害の程度】



障害の程度は、2級が最も多く、次いで3級、1級の順であった。

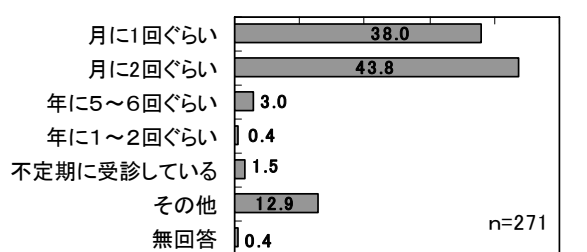
2 通院・入院について

【通院の状況】

通院している	94.5 %
通院していない	5.2 %
無回答	0.3 %

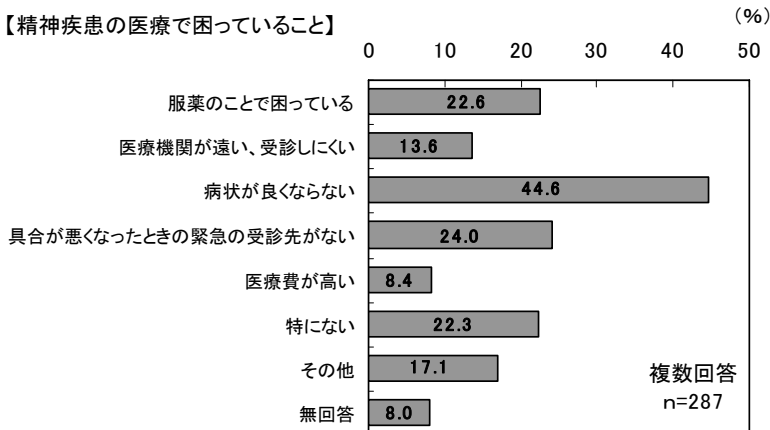
n=287

【通院の頻度】



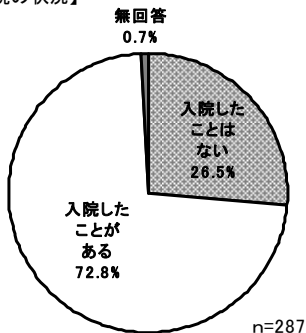
通院の状況については、94.5%が「通院している」と回答しており、通院の頻度については、「月に2回ぐらい」が43.8%と最も多く、続いて「月に1回ぐらい」の38.0%であった。

【精神疾患の医療で困っていること】



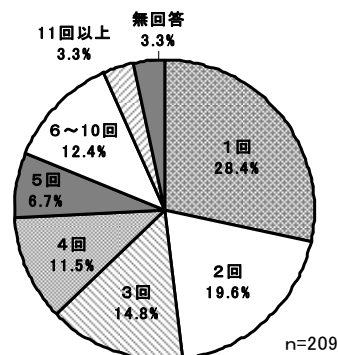
精神疾患の医療で困っていることについては、「病状が良くならない」とする回答が最も多かった。

【入院の状況】



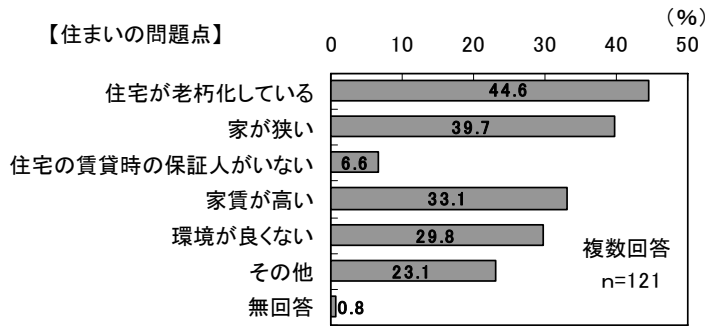
精神疾患での入院状況をみると、72.8%が「入院したことがある」と回答していた。

【今までの入院回数】



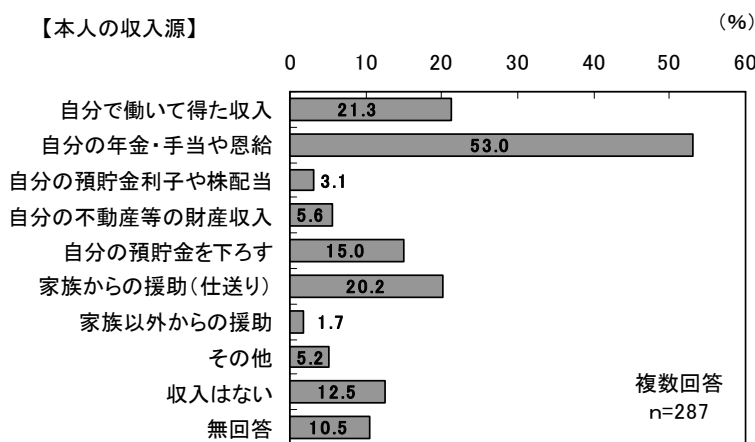
今までの入院回数を聞いたところ、1回が最も多かった。また、入院回数の平均では、3.6回であった。

3 住居について



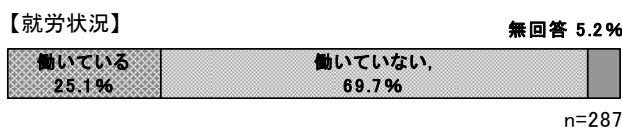
住まいの問題点では、「住宅の老朽化」、「家が狭い」、「家賃が高い」の回答が多かった。

4 収入・年金について



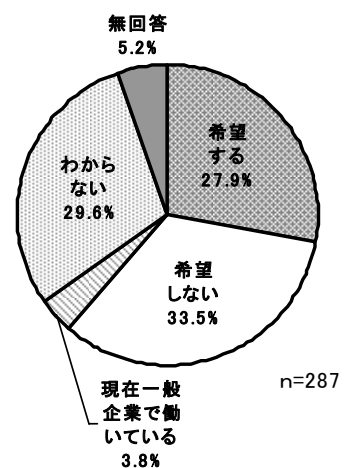
本人の収入源をみると、「自分の年金・手当や恩給」が最も多い。

5 就労の状況について

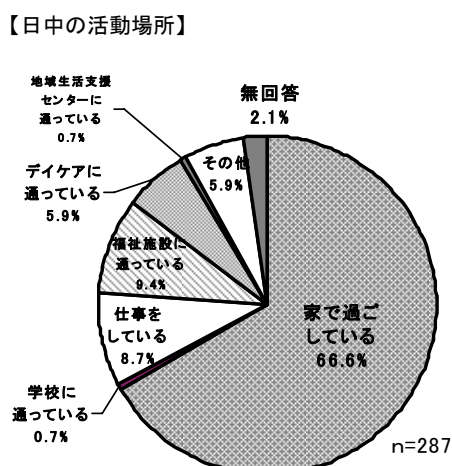


就労状況は、「働いている」が25.1%あった。
一般企業への就職については、「希望しない」が33.5%、「希望する」が27.9%であった。

【一般企業への就職について】

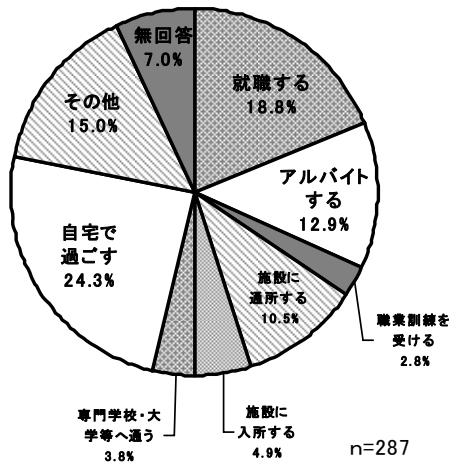


6 日中活動について



日中の活動場所は「家で過ごしている」が最も多かった。

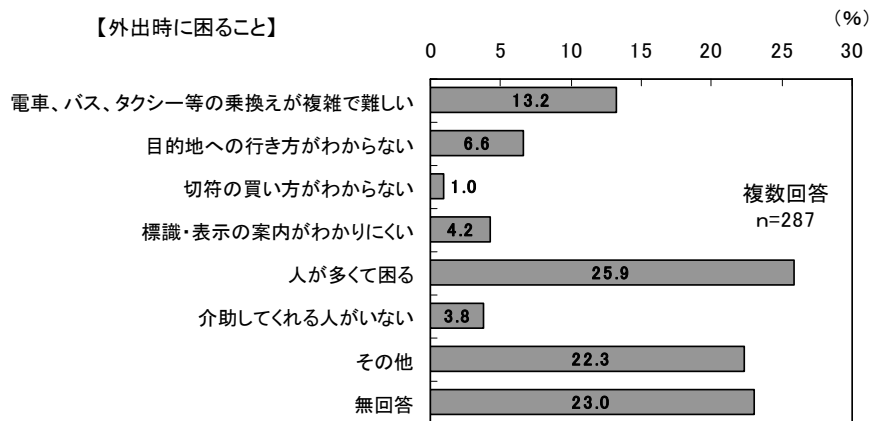
【今後の過ごし方】



今後の過ごし方では、「自宅でも過ごす」が 24.3% と多く、次に「就職する」の 18.8%であった。

7 外出時のことについて

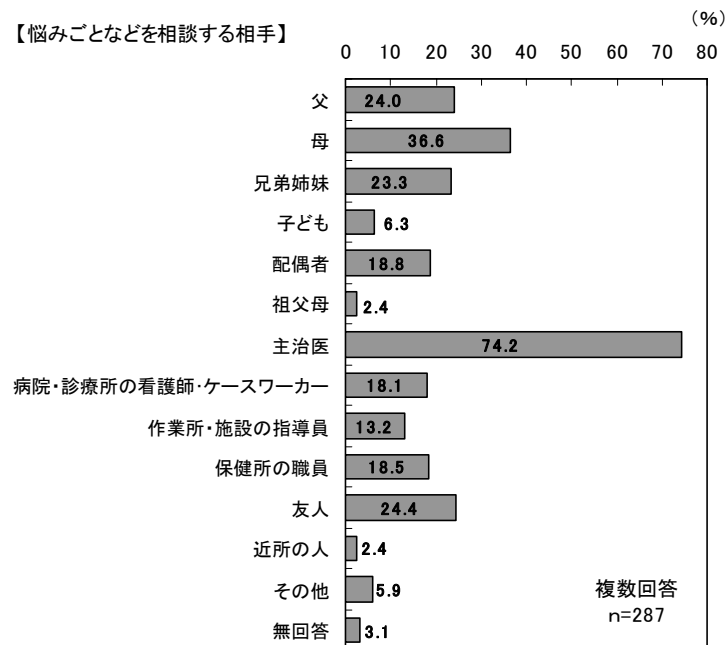
【外出時に困ること】



外出時に困ることについては、「人が多くて困る」とする回答が最も多かった。

8 相談について

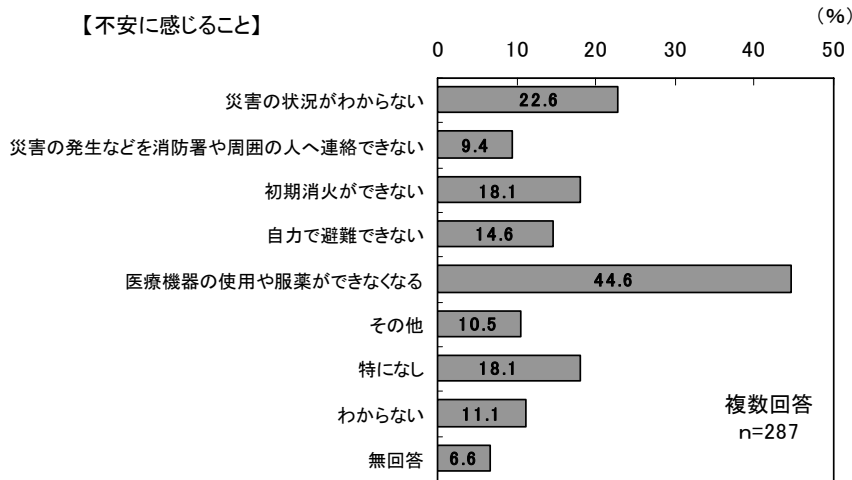
【悩みごとなどを相談する相手】



悩みごとなどを相談する相手では、「主治医」が最も多く、次に「母」となっている。

9 災害対策・情報提供について

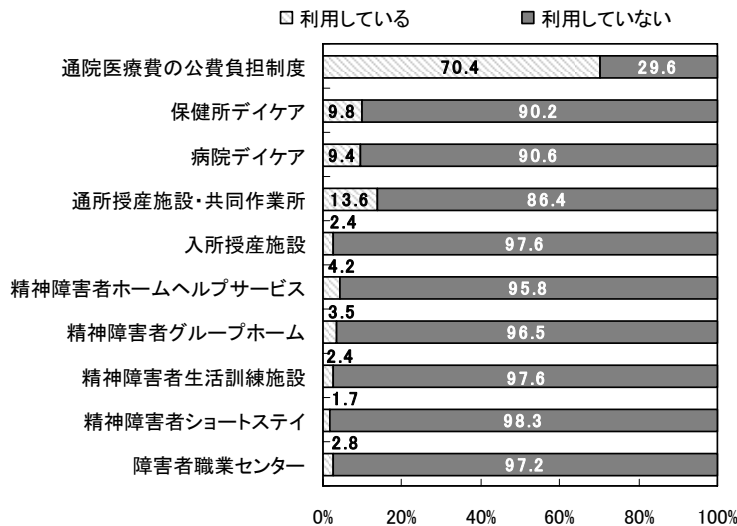
【不安に感じること】



災害時で不安に感じることをたずねたところ、「医療機器の使用や服薬ができなくなる」が最も多かった。

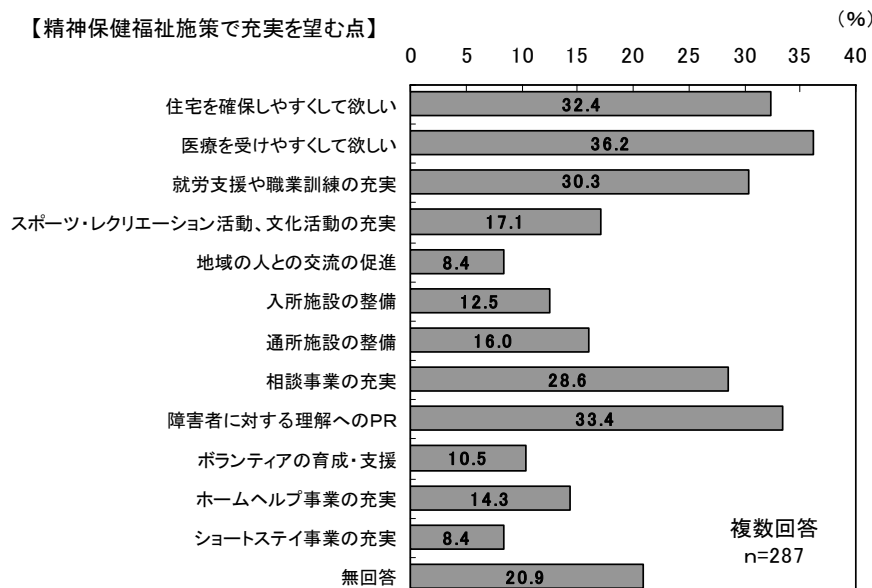
10 精神保健福祉施策について

【利用状況】



精神保健福祉施策の利用状況をみると、通院医療費の公費負担制度を「利用している」とする回答が70.4%と高い割合を占めている。

【精神保健福祉施策で充実を望む点】

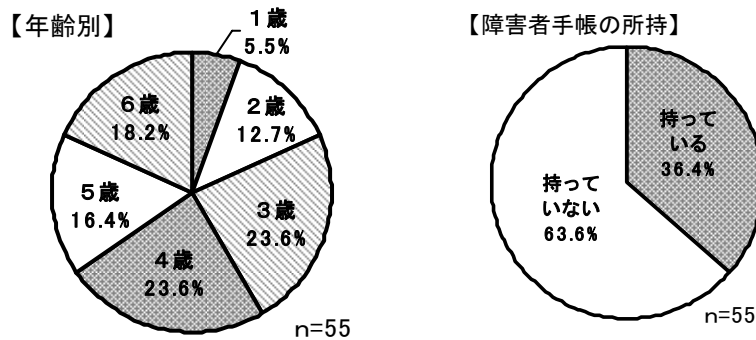


精神保健福祉施策で充実してほしい点については、「医療を受けやすくしてほしい」が最も多く、次いで「障害者に対する理解へのPR」、「住宅を確保しやすくしてほしい」の順に多かった。

4

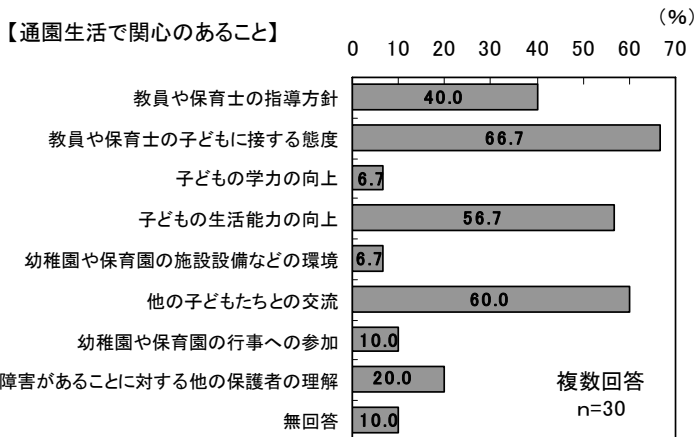
就学前障害児

1 基本属性についての属性

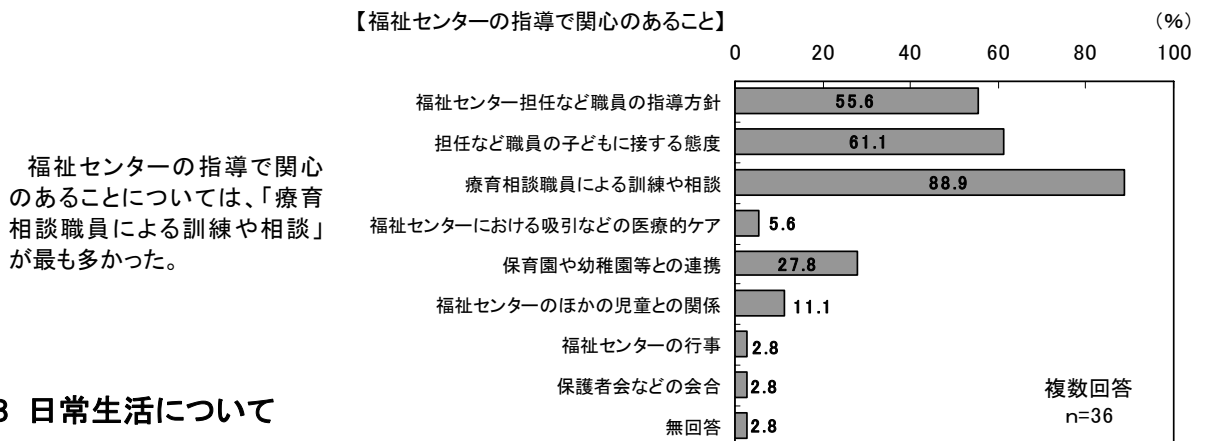


年齢をみると、3、4歳が同じ割合で多く、次いで6歳、5歳の順になっている。
障害者手帳を「持っている」人は 36.4%であった。

2 幼稚園・保育園等での生活について

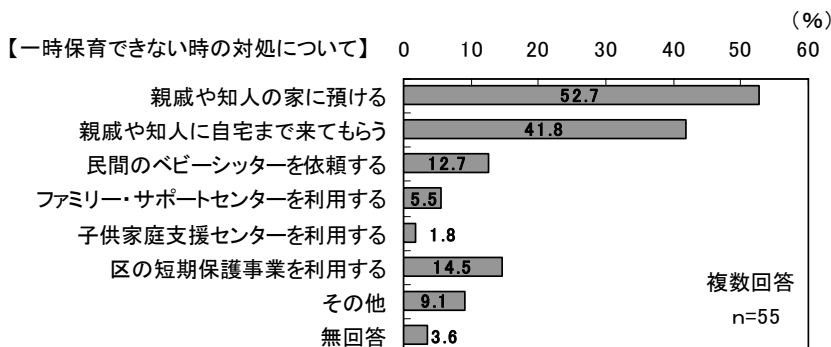


福祉センターのみに通っていない人が、通園生活で関心のあることは、「教員や保育士の子どもに接する態度」が高い割合を占めた。



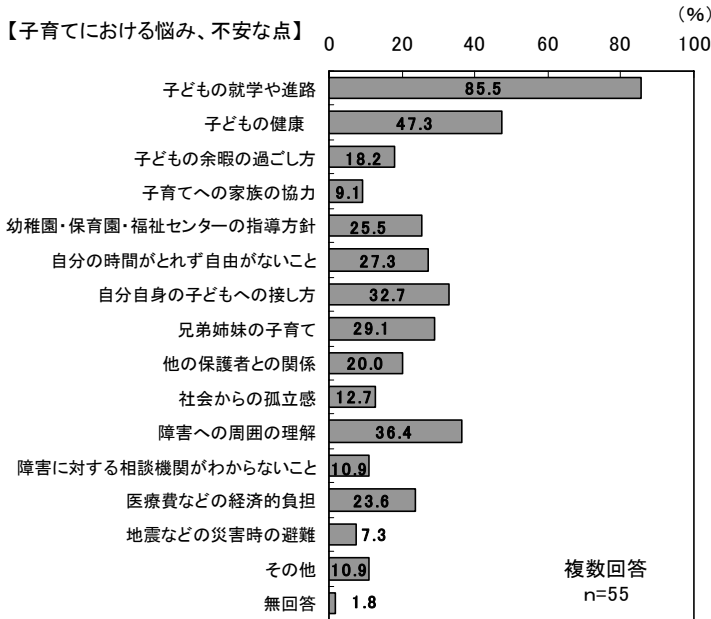
福祉センターの指導で関心のあることについては、「療育相談職員による訓練や相談」が最も多かった。

3 日常生活について



一時的に保育できない場合は、「親戚や知人の家に預ける」が最も高い割合を占めた。

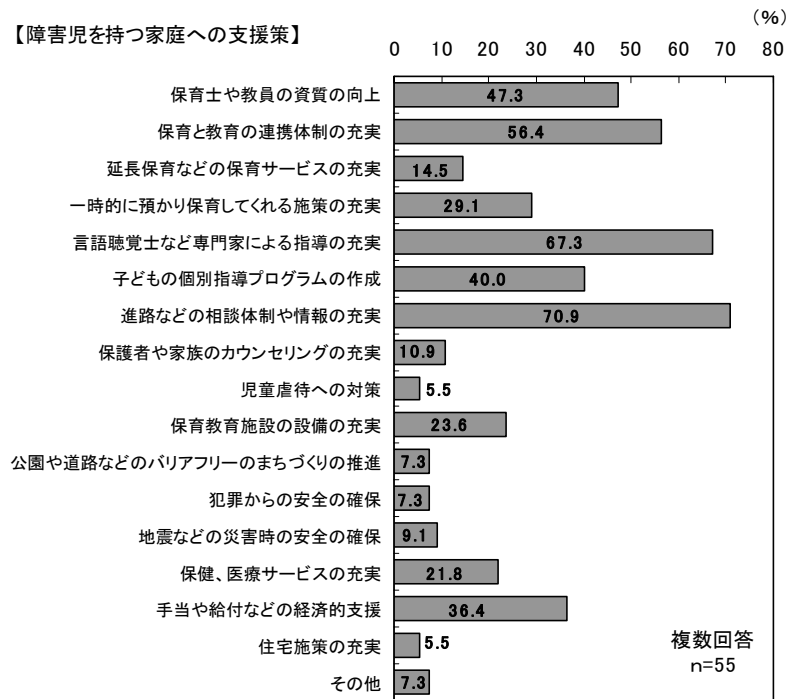
4 悩み、不安に思うこと及び支援策について



子育てにおける悩み、不安な点については、「子どもの就学や進路」とする回答が、最も多かった。

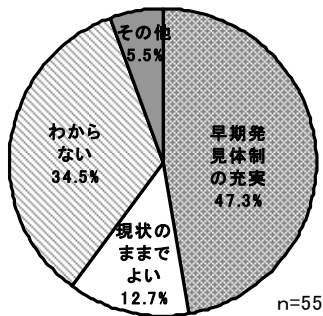
障害児を持つ家庭への支援策については、「進路などの相談体制や情報の充実」が最も多く、次いで「言語聴覚士など専門家による指導の充実」、「保育と教育の連携体制の充実」の順であった。

【障害児を持つ家庭への支援策】



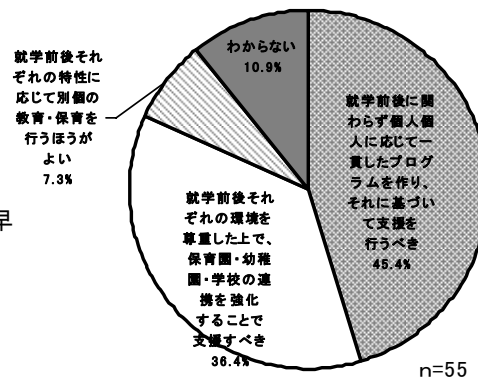
5 発達障害者支援法について

【乳幼児の障害早期発見のあり方】



乳幼児の障害早期発見のあり方では、「早期発見体制の充実」とする回答が多かった。

【就学前から後の発達支援のあり方】

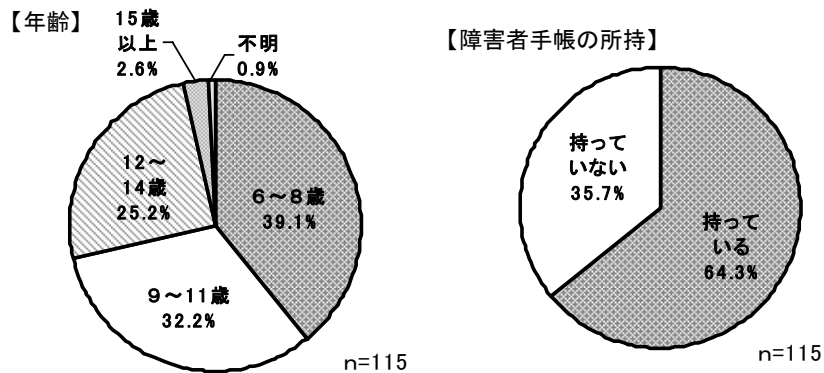


就学前から後の発達支援のあり方では、「就学前後にかかわらず個人個人に応じて一貫したプログラムを作り、それに基づいて支援を行うべき」とする回答が最も多かった。

5

就学後障害児

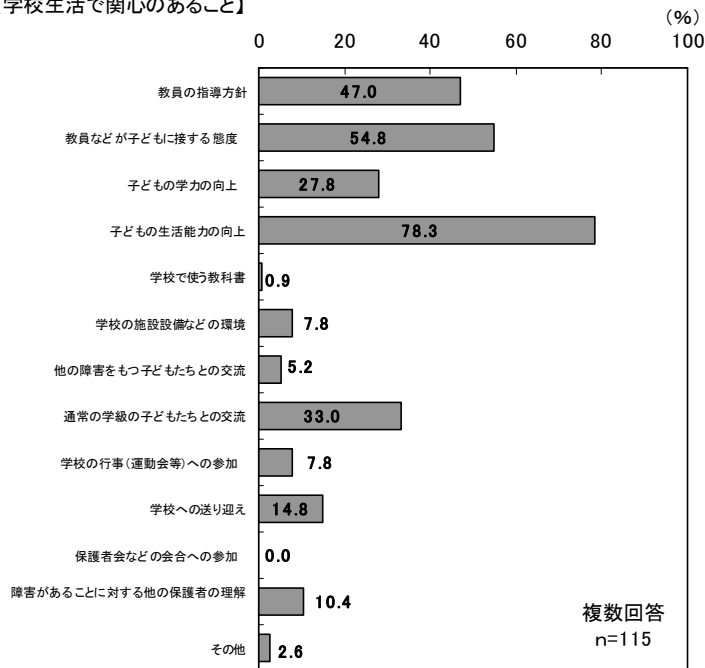
1 基本属性について



年齢別では、6～8歳が39.1%と多く、次いで9～11歳、12～14歳の順になっている。
障害者手帳の所持者は64.3%であった。

2 通学、学校生活について

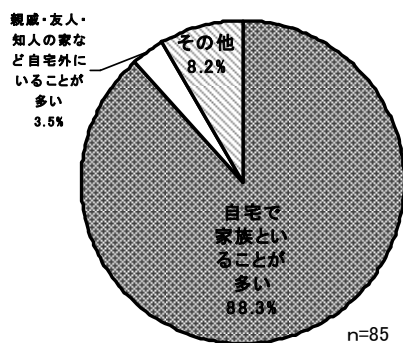
【学校生活で関心のあること】



学校生活で関心のあることは「子どもの生活能力の向上」とする回答が最も多かった。

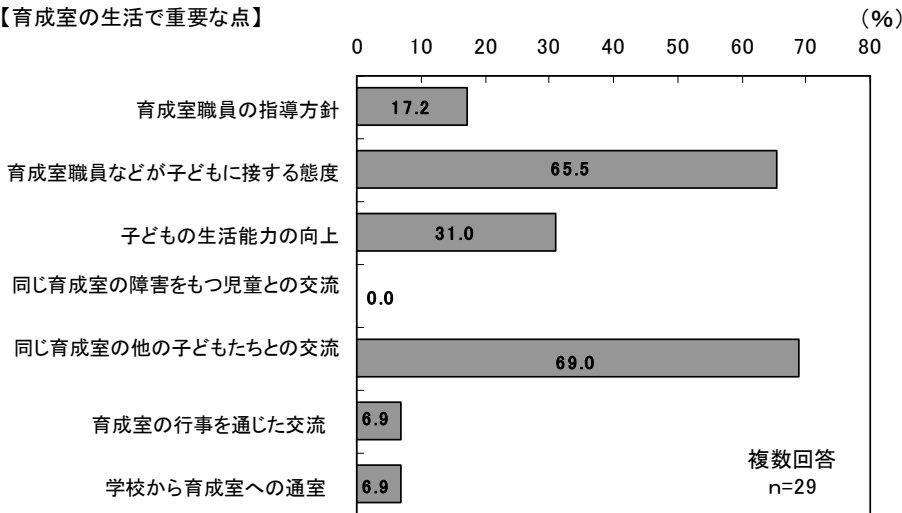
3 放課後、日常生活について

【育成室未利用者の放課後の過ごし方】



育成室未利用者の放課後の過ごし方をみると、「自宅で家族といることが多い」が最も多かった。

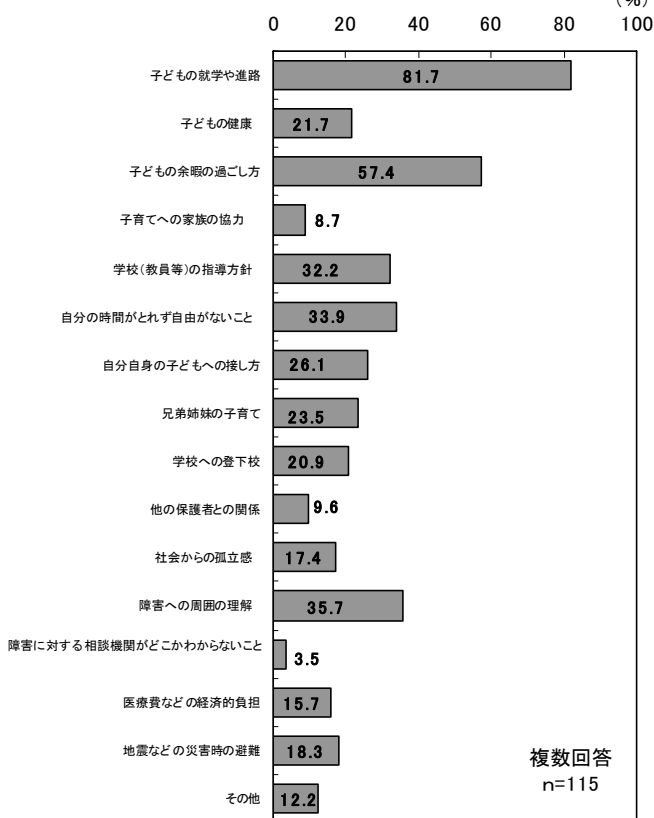
【育成室の生活で重要な点】



育成室の生活で重要な点は、「同じ育成室の子どもたちとの交流」が最も高い割合を占めている。

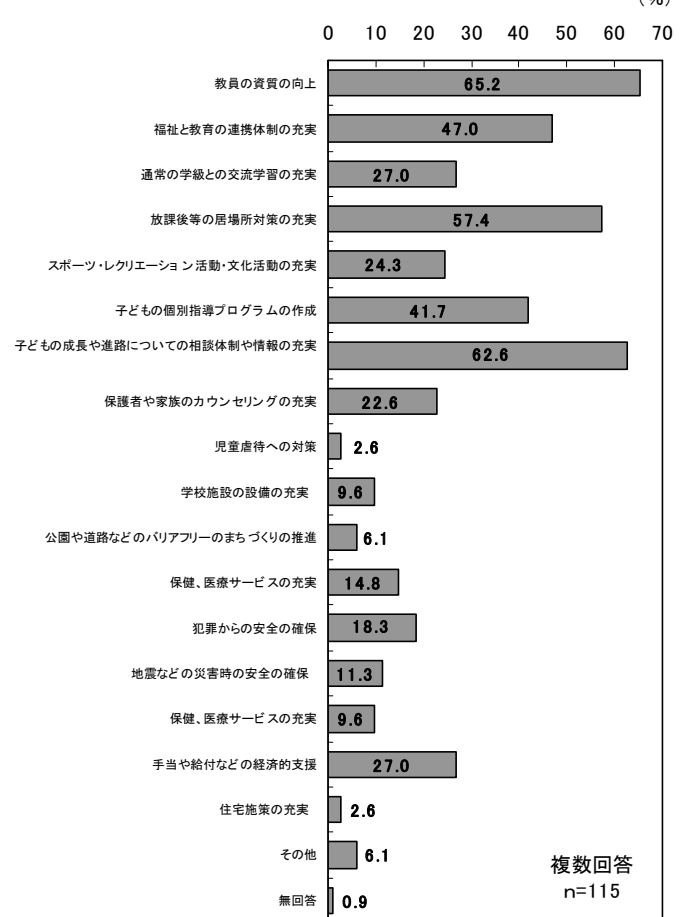
4 悩み、不安に思うこと及び支援策について

【子育てにおける悩み、不安な点】



子育てにおける悩み、不安な点については、「子どもの就学や進路」を最も多くあげている。

【障害児を持つ家庭への支援策】

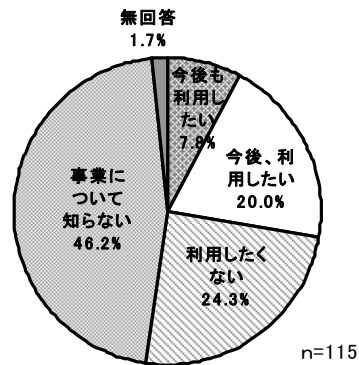


障害児を持つ家庭への支援策は、「教員の資質の向上」と「進路などの相談体制や情報の充実」、「放課後等の居場所対策の充実」の割合が高かった。

5 特別支援子育て事業について

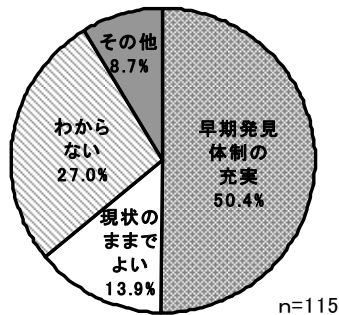
一時保育事業で「今後も利用したい」、「今後、利用したい」とする回答は、合わせて 27.8%であった。

【一時保育事業の利用の有無】



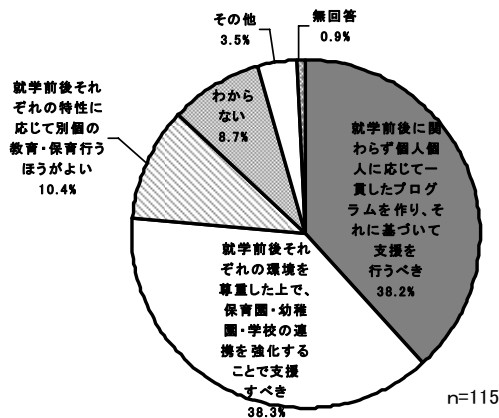
6 発達障害者支援法について

【乳幼児の障害早期発見のあり方】



乳幼児の障害早期発見のあり方では、「早期発見の体制の充実」をあげている人が多い。

【就学前から後の発達支援のあり方】



就学前から後の発達支援のあり方は、「保育園・幼稚園、学校の連携を強化し、支援する」、「個人に対応したプログラムを作り支援する」がほぼ同じ割合で多かった。

文京区障害者(児)実態・意向調査 報告書概要版
平成 18 年 3 月 発行
印刷物番号:F0306002

【発行】文京区

文京区春日一丁目 16 番 21 号

☎03(3812)7111(代表)

【編集】文京区福祉部障害者福祉課 内線 2751~2

文京区保健衛生部保健予防課 内線 2835